

# 修平科技大學

## 應用日語系

台灣人 JFL 學習者における日本語単語の  
認知

-同根語・非同根語・ひらがな単語・カタカナ単語を  
対象に-

指導老師：邱俞瑗 老師

姓名：蔡淳宇 學號：BX105088

姓名：莊歲傑 學號：BX105099

姓名：黃英哲 學號：BX105100

中華民國 108 年 06 月 10 日

## 要 約

本專題以台灣人 JFL 學習者為對象，探討視覺呈現及聽覺呈現時，「同根語」、「非同根語」、「平假名單字」及「片假名單字」是否會因呈現條件的不同，而在單字的認知（理解）上有所差異。其結果發現：

- (1) 單字理解在視覺呈現時比聽覺呈現時困難。
- (2) 在單字的認知（理解）上，同根語及平假名單字比非同根語、片假名單字容易。此外，片假名單字比非同根語單字容易。
- (3) 在聽覺呈現時的單字認知上，平假名單字比同根語、非同根語、片假名單字容易。此外，同根語、片假名單字比非同根語單字容易。
- (4) 在視覺呈現時的單字認知上，同根語比非同根語、平假名單字、片假名單字容易。此外，平假名單字比非同根語、片假名單字容易，而片假平單字比同根語單字容易。
- (5) 在同根語跟非同根語的單字認知中，視覺呈現比聽覺呈現來的容易。而，平假名單字則有視覺比聽覺來得容易的傾向。

## 要 旨

本研究は台湾人 JFL 学習者を対象に、視覚呈示及び聴覚呈示される「同根語」、「非同根語」、「ひらがな単語」と「カタカナ単語」が呈示条件の違いにより、その認知に差があるかどうかを検討する。その結果：

- (1) 視覚呈示条件が聴覚呈示条件より正答率が高かった。
- (2) 同根語とひらがな単語が非同根語とカタカナ単語より正答率が高く、カタカナ単語が非同根語より正答率が高かった。
- (3) 聴覚呈示条件において、ひらがな単語が同根語、非同根語、カタカナ単語より正答率が高く、また、同根語、カタカナ単語が非同根語より正答率が高かった。
- (4) 視覚呈示条件において、同根語が非同根語、ひらがな単語、カタカナ単語よりも正答率が高く、ひらがな単語が非同根語、カタカナ単語より正答率が高く、カタカナ単語が同根語より正答率が高かった。
- (5) 同根語と非同根語において、視覚呈示条件の方が聴覚呈示条件より正答率が高く、また、ひらがな単語において、視覚呈示条件の方が聴覚呈示条件より正答率が高い傾向がみられた。

# 目 録

第一章 問題と目的	1
第二章 実 験	4
第一節 目 的	5
第二節 研究方法	5
2-1 実験計画	5
2-2 被験者	5
2-3 材 料	5
2-3-1 単 語	5
2-3-2 回答冊子	6
2-3-4 調査用紙	6
2-4 装 置	6
2-5 手続き	6
第三章 結 果	8
第一節 分析方法	9
第二節 結 果	9
第四章 考 察	11
第一節 結 論	12
第二節 今後課題	13
引用文献	14
資料 1	15
資料 2	19
資料 3	20
資料 4	21

## 第一章 問題と目的

小川（2011）は、「第二言語（Second Language，以下 L2 と略す）教育における日本語教育では、『聞く』、『話す』、『読む』、『書く』という 4 技能の学習が重視されており 理解可能なインプットが十分に得られれば、言語に関する規則を学習しなくても言語を習得することが可能だと考えられる。そのため、日本で生活する留学生が実際の日本語運用場面で日常に理解可能なインプットを得られることで、海外の日本語学習者より聴解力が高いと認識され、4 技能の中で教室学習における聴解指導は軽視される傾向がある」と示している。よって、授業中における L2 学習者の聴解指導に更なる工夫が必要だという（小川, 2011）。

星崎（2017）は、学習者に「聞く」ことと「話す」こととどちらが簡単かという質問をしたら、学習者のほぼ全員が「聞く」ことだと答えた。その理由として、「聞き間違い」に気づかないことが挙げられた。よって、聴解力を伸ばすために、学習者が語彙や文法の学習を徹底的に行なうことは不可欠であると示している（星崎, 2017）。

中山（2017）は、中級日本語学習者が日本語母語話者と雑談をする際の聴解の困難点は（1）雑談中、知らない語を聞いた時、自国の文化や習慣から不適切な推測をしてしまうこと、（2）前に聞いたことが影響して、今聞いている内容を不適切に理解してしまうこと、（3）類似した音の聞き誤りであったり、部分的な音を聞いて不適切な理解をしたり、未知の語を聞いて既知の漢字を推測したりして、不適切な理解をしてしまったことであるという。

これらのことから、「聴解」は 4 技能の中で最も困難な技能であり、また、言語学習の中で、語認知が聴解理解に大きな影響を与えていると考えられる。

楊・史・陳・陳・涂（2019）は日本語を外国語（Japanese as a Foreign Language；以下簡稱 JFL）として学習している台湾人日本語学習者を対象に、視覚呈示と聴覚呈示における日本語単語の認知の差異について検討した。その結果、台湾人 JFL 学習者は、聴覚呈示される単語の認知、及び聴覚呈示される漢字の認知が困難であると示している。このことから、台湾人 JFL 学習者は、日本語を学習する際に、聴覚呈示、及び漢字の聴覚的認知にもっと力を入れるべきだと思われる。

しかしながら、日本語単語は「同根語」（中国語と形態および意味が同じ日本語単語で、例えば：中国語と日本語の「教室」）と「非同根語」（中国語と形態は異なるが意味が同じ日本語単語で、例えば：中国語の「老婆」にあたる日本語の「家内」）に、かな単語は「ひらがな単語」（例えば、「けち」）とカタカタ単語（例えば、「ウール」）に分けることができる。よって、

日本語単語の認知を検討する際に、単語の形態を考慮し、検討する必要がある。

以上のことから、本研究では、同じく台湾人 JFL 学習者を対象に、「同根語」、「非同根語」、「ひらがな単語」と「カタカナ単語」の認知について検討する。すなわち、視覚呈示と聴覚呈示の呈示条件の違いにより、単語の認知に差があるかどうかを明らかにすることである。

## 第二章 实 験

## 第一節 目的

本研究は台湾人 JFL 学習者を対象に、視覚呈示及び聴覚呈示される「同根語」、「非同根語」、「ひらがな単語」と「カタカナ単語」が呈示条件の違いにより、その認知に差があるかどうかを検討する。

## 第二節 研究方法

### 2-1 実験計画

4×2 の 2 要因配置を用いた。第 1 の要因は単語を表記した場合の形態(以下、これを表記形態とする)で、同根語、非同根語、ひらがな単語、カタカナ単語の 4 水準であった。第 2 の要因は単語の呈示条件で、視覚呈示と聴覚呈示の 2 水準であった。第 1 の要因と第 2 の要因はともに被験者内要因であった。

### 2-2 被験者

台湾人 JFL 学習者 21 名であった(女性 11 名、男性 10 名)。全員、日本に滞在した経験がなかった。

### 2-3 材料

#### 2-3-1 単語

単語は、『日本語能力試験出題基準 改訂版』(国際交流基金, 2002) の 2 級語彙リストから同根語、非同根語、ひらがな単語、カタカナ単語が計 44 単語(各条件 11 単語)選定された。なお、聴覚呈示条件で意味の理解に混乱が生じないように、単語を選定する際は同音異義語を除外した。

材料を選定する際は、単語の頻度が考慮された。日本語単語の出現頻度は『NTT データベースシリーズ 日本語の語彙特性 頻度』(天野・近藤, 2002) に準拠した。同根語、非同根語・ひらがな単語とカタカナ単語との間で、分散分析を行なった結果、有意差は見られなかった( $F(3,43)=0.001$ )。この結果から、単語の属性に差はないことが保証された。

視覚呈示条件では、各単語は POWER POINT に 1 ページに 1 単語の呈示で作成し、パソコンで単語の呈示が行なわれた。

聴覚呈示条件では、各単語を録音した CD で単語の呈示が行なわれた。音声の録音は成人の日本語母語話者（女性）によるものであった。アクセントは、『NHK 日本語発音アクセント辞典』（日本放送協会, 1985）に基づいた。単語の呈示順序は視覚呈示条件と異なった。音声を録音する際には、自然な速度ではっきりと音読するように依頼した。

### 2-3-2 回答冊子

視覚呈示条件および聴覚呈示条件の回答冊子は、ともに 1 ページにつき 13 個の回答を書く空欄が印刷された。回答冊子はともに A4 縦型用紙 4 枚から構成されていた（資料 1 を参照のこと）。

### 2-3-3 調査用紙

実験後に用いる、被験者に未知単語の有無や学習歴などを回答させるための調査用紙は A4 縦型用紙 1 枚に印刷された（資料 2 を参照のこと）。

## 2-4 装置

デスクトップパソコンおよびヘッドフォンを用いた。

## 2-5 手続き

実験はコンピューター教室で小集団形式で 2 回行なわれた。

全ての被験者はランダムに「視覚呈示条件先」と「聴覚呈示条件先」のグループに振り分けられた。1 か月後に視覚呈示条件先の被験者は聴覚呈示条件の実験に、聴覚呈示条件先の被験者は視覚呈示条件の実験に参加した。Figure1 に実験の流れを示す。

A. 聴覚呈示条件先のグループ：

聴覚呈示条件 → (1 か月) → 視覚呈示条件 → アンケート調査

## B. 視覚呈示条件先のグループ：



Figure1. 実験の流れ

視覚呈示条件および聴覚呈示条件の被験者は、視覚的、または聴覚的に呈示される単語を1単語ずつ中国語に翻訳して解答用紙に記入するように求められた。

視覚呈示条件では、単語が視覚的に呈示される以外は、聴覚呈示条件と同様であった。視覚呈示条件と聴覚呈示条件の回答時間に制限を設けており、各単語が呈示されてから15秒後に、次の単語に移った。視覚呈示条件の単語の呈示順序は、聴覚呈示条件の単語の呈示順序と異なり、休憩時間を挟まずに44単語が呈示された（実験に使われた具体的な教示文は、資料3、資料4を参照のこと）。

1か月後に同様の手続きで実験を行なった。2回目の実験終了後に、被験者の言語学習の背景、および未知単語の有無を調べるために、筆記回答式の調査が行なわれた。

### 第三章 結 果

## 第1節 採点方法

日本語単語の中国語訳の採点にあたっては、辞書に記載されているすべての翻訳語を正答とした。以下、具体的な採点基準を示す。

辞書に記載されている翻訳語と、被験者が訳した日本語単語の中国語訳とが全く同じ場合は、これを正答とした。さらに、辞書に記載の翻訳語と一致していない場合でも、その単語の概念を表わすものは正答とした。空白の回答と誤訳は、すべて誤答とした。以下に具体的な例を示す。

(回答例)

日本語：おしゃべり

辞書に記載されている中国語訳：長舌；喋喋不休

被験者の訳語 1	：長舌	正答
被験者の訳語 2	：大嘴巴（おしゃべり）	正答
被験者の訳語 3	：聊天（雑談）	誤答

## 第2節 結果

各被験者の無答・誤答を除き、正答を対象データとした。

Figure2 に、各条件における正答率を示す。4（表記形態：同根語・非同根語・ひらがな単語・カタカナ単語）×2（呈示条件：視覚呈示・聴覚呈示）の 2 要因分散分析を行なった結果、表記形態の主効果（ $F(3,60)=32.68$ ， $p<.001$ ）が有意であった。同根語、ひらがな単語が非同根語、カタカタ単語より正答率が高く、カタカナ単語が非同根語より正答率が高いことが分かった。

呈示条件の主効果（ $F(1,20)=65.89$ ， $p<.001$ ）が有意であった。聴覚呈示条件の正答率が視覚呈示条件の正答率よりも低いことが明らかになった。

また、表記形態×呈示条件の 1 次交互作用において、有意差がみられたので（ $F(3,60)=15.0$ ， $p<.001$ ）、単純主効果の検定を行なった。その結果、聴覚呈示条件において、ひらがな単語が同根語、非同根語、カタカナ単語より正答率が高いこと、また、同根語、カタカナ単語が非同根語より正答率が高いことが分かった。視覚呈示条件において、同根語が非同根語、ひらがな単語、カタカナ単語より正答率が高いこと、また、ひらがな単語が非同根語、カタカナ単語より正答率が高く、カタカナ単語が同根語より正

答率が高いことが明らかになった。同根語と非同根語において、視覚呈示条件の方が聴覚呈示条件より正答率が高いこと、また、ひらがな単語において視覚呈示条件の方が聴覚呈示条件より正答率が高い傾向がみられた。

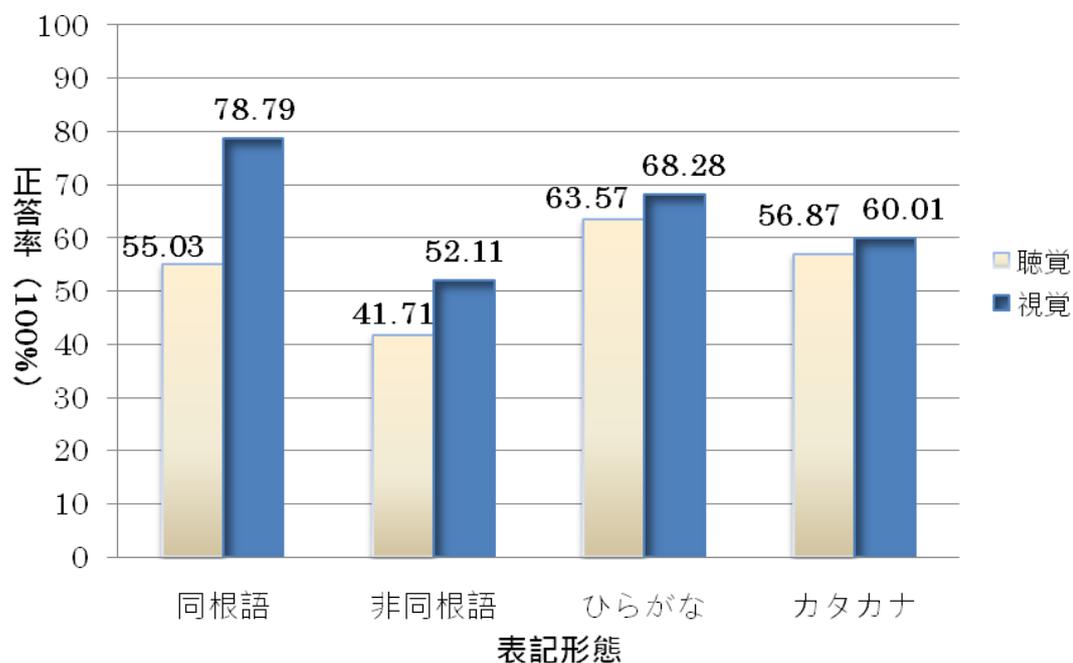


Figure2. 各条件における正答率

## 第四章 考察

## 第一節 結論

本研究は台湾人 JFL 学習者を対象に、視覚呈示及び聴覚呈示される「同根語」、「非同根語」、「ひらがな単語」と「カタカナ単語」が呈示条件の違いにより、その認知に差があるかどうかを検討する。その結果：

- (1) 視覚呈示条件が聴覚呈示条件より正答率が高かった。
- (2) 同根語とひらがな単語が非同根語とカタカナ単語より正答率が高く、カタカナ単語が非同根語より正答率が高かった。
- (3) 聴覚呈示条件において、ひらがな単語が同根語、非同根語、カタカナ単語より正答率が高く、また、同根語、カタカナ単語が非同根語より正答率が高かった。
- (4) 視覚呈示条件において、同根語が非同根語、ひらがな単語、カタカナ単語よりも正答率が高く、ひらがな単語が非同根語、カタカナ単語より正答率が高く、カタカナ単語が同根語より正答率が高かった。
- (5) 同根語と非同根語において、視覚呈示条件の方が聴覚呈示条件より正答率が高く、また、ひらがな単語において、視覚呈示条件の方が聴覚呈示条件より正答率が高い傾向がみられた。

以上の結果から、聴覚呈示される単語が視覚呈示される単語よりも、認知が困難であることは、楊・史・陳・陳・涂 (2019) の研究結果と一致している。中国語を母語とする日本語学習者は、日本語単語を聴覚呈示された場合に、同一単語を視覚呈示された場合よりも意味の理解が困難となる。

非同根語は他の表記形態の単語よりも正答率が低いことから、非同根語は他の表記語より意味理解が困難であるといえよう。今までの先行研究では、非同根語は同根語より音韻の定着が強く、意味理解が困難ではないとされているが、本研究の結果は先行研究の結果と一致していない。この点について、更なる検討が必要である。

また、同根語、非同根語、カタカナ単語はひらがな単語より意味の理解が困難であることから、学習者は表音文字であるひらがな単語を学習する際は、日本語音で単語を覚えているため、音韻の定着が他の表記語よりも強く、意味理解が困難ではないと考えられる。

視覚呈示条件において、非同根語、ひらがな単語、カタカナ単語は同根語より意味の理解が困難であるのは、同根語は中国語と形態および意味が

同じ日本語単語であるため、中国語の視覚情報の助けにより、意味理解ができたのではないかと推測される。

以上の結果から、台湾人日本語学習者に対して、日本語の語句や文を学習する際に、できる限り、リピートや音読など、日本語を明確に音声化すること、しかもそれらを繰り返す行なうことが必要であると考えられる。

## 第二節 今後課題

本研究では、非同根語が他の表記語より意味の理解が困難であることが分かったが、その原因について明らかではない。よって、このことについて更なる検討が必要である。これを本研究の今後の課題とする。

## 引用文献

- 天野成昭・近藤公久 2002 NTT データベースシリーズ 日本語の語彙特性  
頻度 三省堂
- 星崎幸子 2017 聴解力を伸ばす：日本語教育における教師の工夫 青山ス  
タndaード論集, 12, 39-51.
- 小川 都 2011 大学学部における留学生の日本語コミュニケーション能  
力および学習スキルの実態に関する研究 専修大学外国語教育論集, 39,  
77-92.
- 国際交流基金 2002 日本語能力試験出題基準 改訂版 凡人社
- 中山英治 2017 雑談における中級日本語学習者の聴解困難点 大阪産業  
大学人間環境論集, 16, 145-158.
- 日本放送協会 1985 NHK(編)日本語発音アクセント辞典 日本放送出版  
協会
- 楊宇翰・史習樸・陳思妤・陳嘉好・涂祺閔 2019 台湾人 JFL 学習者にお  
ける日本語単語の調査—視覚呈示と聴覚呈示の比較— 修平科技大學應  
用日語系專題論文(未刊行)

姓名：

	中文意思
1	
2	
3	
4	
5	
6	
7	
8	
9	
10	
11	
12	
13	
14	

	中文意思
15	
16	
17	
18	
19	
20	
21	
22	
23	
24	
25	
26	
27	
28	
29	

	中文意思
30	
31	
32	
33	
34	
35	
36	
37	
38	
39	
40	
41	
42	
43	
44	

	中文意思
45	
46	
47	
48	
49	
50	
51	

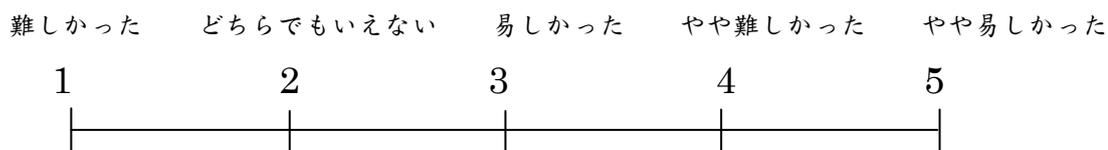
1. 日本語を今までどのくらい勉強していますか。

年      ヶ月

2. 日本語能力試験を受けたことがありますか。

① はい (      年      月:      を受けて取得)      ② いいえ

3. この実験は、問題が難しかったですか。それとも、易しかったですか。  
以下の数字のどれかに○をしてください。



4. この調査での単語の呈示時間は適切(十分)だと思いますか。

① はい      ② いいえ (      )

5. 勉強したことがない単語に○で囲んでください。例：梅雨

安心    うどん    封筒    ハンドル    椅子    ウール    おなか    女房  
 アルバイト    かぎ    醤油    ネクタイ    本棚    書類    台風    けち  
 案内    ケーキ    ひげ    配達    日記    オーバー    テスト    能率  
 温泉    のど    フィルム    家内    地図    シャワー    形式    都合  
 遠慮    火山    複雑    はさみ    カラー    趣味    茶碗    あかちゃん  
 怪我    しっぽ    熱中    判子    鉛筆    におい    ノート    笑顔  
 筆記    たばこ    タイプ

6. 最後に、この調査について何かご意見・ご感想がありましたら、よろしくお願ひします。

## 聽覺呈示の教示文

感謝各位協助今天的調查。

這個調查並非是在測驗各位的日語能力，所以請放輕鬆做答。

首先，請各位先寫上自己的姓名。

接下來針對調查程序做說明。

等等各位會聽到 CD 播放日語單字。

請各位將聽到的單字的意思，用中文寫出來。

例如：CD 播放出來的單字為「先生」<sup>せんせい</sup>，

它的中文意思是「老師」，所以，在（     ）中寫上「老師」，

每個單字的呈現時間為 1 秒，作答時間為 14 秒，

15 秒後將聽到下一個單字。

每個單字只播放一次，所以請注意聆聽。

如遇到不會的單字時，請空白、不要填寫。

到這裡的說明，請問有不清楚的地方嗎？

如果沒有，我們將開始進行調查。

## 視覚呈示の教示文

感謝各位協助今天的調查。

這個調查並非是在測驗各位的日語能力，所以請放輕鬆做答。

首先，請各位先寫上自己的姓名。

接下來針對調查程序做說明。

等等各位會從螢幕上看到日語單字。

請各位將看到的單字的意思，用中文寫出來。

例如：螢幕上出現的單字為「先生」<sup>せんせい</sup>，

它的中文意思是「老師」，所以，在（     ）中寫上「老師」，

每個單字的呈現時間為 1 秒，作答時間為 14 秒，

15 秒後將看到下一個單字。

每個單字只會呈現一次，所以請注意觀看。

如遇到不會的單字時，請空白、不要填寫。

到這裡的說明，請問有不清楚的地方嗎？

如果沒有，我們將開始進行調查。